

# 山口県教育

Education of the Yamaguchi prefecture

明日を拓く — 成果を検証する —

# 5



## ■シリーズ「今どき学校・園 ①」

### ◎修学旅行

下関市立豊浦小学校  
 下関市立豊浦小学校  
 下関市立豊浦小学校  
 萩市立見島小中学校  
 萩市立見島小中学校

前教頭  
 6年  
 6年  
 前教頭  
 中学部

兼坂 幸雄  
 竹重 眞之介  
 中村 湧  
 藤岡 俊秀

3年  
 3年  
 3年

守永 愛梨  
 吉村 真菜子  
 浜村 拓美

### ◎幼稚園・子ども園の取組

学校法人徳山中央幼稚園 園長  
 下関市立川棚こども園 前園長

御手洗賢成  
 森永由貴枝

### ■やまぐち見てある記

岩国石人形資料館  
 和木美術館アートウィング

### ■ご案内

平成30年度 第71回山口県学校美術展 推奨作品  
 「地図を片手に、さあ出発!! ~修学旅行はぼくの一番の思い出~」  
 萩市立福栄小中学校 小学部6年生 (受賞時) 中村 遥斗

### あなたのアクションは…

山口県教育会がすすめる  
 「元気やまぐち」3つのアクション

- ◎あいさつ 返事で 明るいやまぐち
- ◎笑顔でつなぐ 安心やまぐち
- ◎ゴミ 落書きのない 美しいやまぐち

一般財団法人 山口県教育会

〒753-0072 山口市大手町2-18 TEL 083-922-0383 FAX 083-922-5768

URL <http://www.ykyoikuk.or.jp> E-mail [ykyoikuk@ruby.ocn.ne.jp](mailto:ykyoikuk@ruby.ocn.ne.jp)

明治36年4月第1号 毎月1日発行 発行人 会長：倉増誠彦／編集長：山本晃久

### 三気の教えを胸に



(執筆時) 下関市立豊浦小学校

教頭 兼 坂 幸 雄

(現) 山口県教育庁教職員課(主査)

#### 教育の根幹をなすもの

本気・根気・元気。これは、長年本校に受け継がれてきた「三気の教え」と言われるものです。何事にも本気で取り組み、最後まで粘り強くやり抜き、心身ともに健全に、たくましく生きよという大切な教えだと考えています。全ての教育活動を通じて、常に意識し、事あるごとに立ち返る、教育の根幹をなすものです。修学旅行もまた、この三気の教えを生かし、大きく成長するための貴重な実践の場としてとらえています。

#### 本気・根気・元気を発揮する場

長崎市での修学旅行は、平和に関する学習から始まります。戦争の状況や原爆の被害等、まず事前の調べ学習で知識として学びます。その上で、実際に長崎市の平和公園や原爆資料館を訪ね、ガイドの話を聞き、平和セレモニーの中で祈りを捧げることで学びはさらに深まります。この日のために、子どもたちはセレモニー実行委員会を立ち上げ、準備を続けてきました。当日は、平和への祈りを込めて誓いの言葉を発表し、リコーダー演奏を行いました。その中で、平和の担い手として子どもたちを見つめる人々の表情や眼差しを感じ、より一層真剣に取り組み姿に、思いの深まりが感じられました。ここを訪ねる最大の目的は、本物にふれ、平和と命の尊さについて真剣に考え、自己の生き方を見つめることです。これまでの生き方を振り返り、これからをどう生きるのか真剣に考え、本気で自



平和公園でのセレモニー (平成30年度)

他の命を大切にすることができるとなるため、修学旅行もまた貴重な契機になっています。

長崎市内では、「平和」か「歴史・文化」のどちらかをテーマとした班別自主研修も行います。事前に班ごとにテーマを選び、見学コースも自分たちで計画を立てます。原爆資料館を起点に、市内に点在する様々な史跡等を巡り、最後はグラバー園に集合します。限られた時間内に公共交通機関をうまく利用し、効率的に回る必要があります。ガイドブックや地図、時刻表など様々な資料を活用する力やわからないことは現地の人に尋ねるコミュニケーション力が問われます。計画通りにいかないときも、チームワークやあきらめずに挑戦する根気強さが不可欠です。学校での計画や準

備、当日の活動を通して、根気強く取り組むことで学習の成果や達成感を得られることを学んでいくのです。修学旅行では、ホテルで過ごすことや二日目のアトラクション施設での活動も大きな楽しみです。しかし、みんなが心身ともに元気で楽しく過ごすためには、ルールやマナーを守ることが大事です。挨拶等の礼儀や迷惑をかけない過ごし方、思いやりのある言動や節度ある行動等、これまで学んできたことを実際に生かす絶好の機会となります。

このように、「三気の教え」に基づき、めざす児童の姿を具現化していくための取組として、有意義な修学旅行を行いたいと考えています。

#### 大規模校ならではの工夫

本校は、約九百人の児童が在籍する大規模校で、約百五十人の六年生が修学旅行に参加します。そのため、場所や移動時間の確保、危機管理の面など、全ての面において綿密な計画が必要になります。中でも班別自主研修では、児童が三十班に分かれて市内を移動するため、全ての班の移動ルートと時間を一覧にまとめたものを共有します。また、各要所に教員を配置して安全管理をするとともに、各班と教員が専用の携帯電話を持ち、随時連絡を取り合い、それが本部教員のもとに集約されるようにしています。細やかな準備と情報共有、連絡系統の明確化を確実に行之、子どもたちにとって、安全で有意義な活動となるよう努めています。



班別自主研修

## 平和の大切さを学ぶ修学旅行

下関市立豊浦小学校

六年 竹重 眞之介



修学旅行で思い出に残したいことが四つあります。

一つ目は、グリーンランドをみんなでまわることです。グリーンランドには、様々な楽しいアトラクションがあります。一人でまわっても楽しいのですが、学校の仲間とまわることはめつたにないので、とても楽しい思い出になると思います。

二つ目は、班別で長崎の町を散策することです。長崎の町には遊ぶところや伝統のあるところが数多くあります。行ってみたくところの全てをまわるかどうかは分かりませんが、班の仲間と協力して計画を立て、できるだけ多くのところをまわりたいです。長崎は中華料理が有名なので、昼食は中華料理店に行き、おいしい料理を楽しみたいです。

三つ目は、ホテルに泊まって友達とすごすことです。友達といっしょの部屋でねたり、話したりできるので、いつもは話せない話もできると思います。友達との仲をより深めたいです。そして四つ目は、平和公園に行くことです。長崎では昔の戦争で、原爆が落とされ、多くの方が亡くなりました。今も世界では戦争があり、

苦しんでいると聞きました。ぼくは平和公園に行つて、世界の平和を祈りたいです。戦争のひびきを聞き、平和がどれほど大切なのか、肌で感じたいと思います。

修学旅行はとても楽しいということとを姉から聞きました。長崎は遠くてなかなか行く機会がないので、様々な思い出ができると思います。こうして修学旅行に行けるのも、父や母、周囲の方々のおかげだと思います。感謝の気持ちと平和を願う気持ちをもって、修学旅行を楽しみたいと思っています。



長崎原爆資料館での平和学習 (平成30年度)

## 学んで楽しんで

下関市立豊浦小学校

六年 中村 牙



五月十六日と十七日に私たち豊浦小学校六年生は、修学旅行に行きます。ずっと前から楽しみにしていた修学旅行です。ただ、楽しみな反面、不安もあります。迷子にならないか、けんかをしないかなど色々あります。もし迷子になってしまったら、たくさんの人に迷惑がかかります。そんなことになったら楽しい修学旅行が台無しです。それにけんかをしてしまったらうるさくなって、これもまたたくさんの人に迷惑です。けれどそんなことなく、みんなで仲良くできると思います。

修学旅行という文字の中には学習の「学」という字が入っています。だから修学旅行は楽しむだけでなく、きちんと勉強もするものだと思います。長崎県は原爆くを落とされた悲しい過去があります。戦争について知るのはいかにもしれないけれど、戦争は日本に大きなえいきょうを与えたことだし知っておくべきだと思います。そして、平和の尊さをかみしめたいです。

私が修学旅行で一番楽しみにしているのが長崎の町を歩くことです。運がよければ、チリンチリンアイスを買うことができるそうです。私は長崎の町を歩いたことは一度もないので、貴

重な体験になるにちがいないと思います。目的をもち、友達とバスや路面電車で移動することは忘れられない思い出になると思います。

このように修学旅行はとても充実しそうです。楽しむときは友達と思いつ切り楽しんで、学ぶときはしっかり学んで、豊浦小学校の児童としてはずかしくないふるまいで、けじめのある修学旅行にしたいと思っています。この他にも楽しむことがまだまだたくさんあります。一生に一度だけの修学旅行です。最高のものになりたいと思います。



班別自主研修を終えて (平成30年度)

# 国境離島にある見島小中学校と修学旅行



(執筆時) 萩市立見島小中学校

教頭 藤岡俊秀

(現) 下関市立生野小学校教頭

豊かな心と健やかな体をもち、夢の実現に向けて自ら学ぶ続ける見島っ子の育成

萩市北部、本土より沖合約四十五km、高速船「ゆりや」で七十五分、国境離島である見島に本校はあります。児童生徒数は十五名。小学部十一名、中学部四名という構成です。島の人たちは学校に大変協力的で、コミュニティ・スクールの仕組みも十分に活用されています。小中一貫教育校ということもあり、地域・保護者・教職員で全校児童生徒の九年間の学びを見守ることができ素晴らしい教育環境です。

また、「少人数指導で学力を付けます」「縦割り班で自治力を育てます」という二つのキャッチフレーズを掲げて日々の教育活動に取り組んでいます。

手厚く行うことができる学習指導や、小学部一年生から中学部三年生までで構成される縦割り班での様々な体験活動、また、どの発達段階の児童生徒も一人一人が活躍できる場が多くあることなど、児童生徒数が少ない本校ならではの良さを日々感じています。

## 二つの修学旅行

小中一貫教育校として、九年間の連続した学びで「本の生きる力」を身に付けることを大切にしています。修学旅行に関しては、小学部で一回、中学部で一回と9年間で2回あるという点については他の小学校や中学校と同じであると言えます。

小学部では、高学年学級が隔年で、二泊三日の宿

泊学習と一泊二日の修学旅行を実施しています。五年生、六年生のいずれかで修学旅行を

経験することになります。宿泊学習は秋吉台、修学旅行は広島で、同じく萩市の離島にある大島小中学校小学部と合同実施しています。秋吉台の大自然の中、様々な体験をすることでできる宿泊学習。中国地方の大都市である広島市を中心に活動する修学旅行。いずれも自分の課題に主体的に向き合い、かつ普段よりも多い人数で様々な活動を行うことができる貴重な機会となっています。本年度は、宿泊学習を契機にスカイプを使ったの国語科の合同授業も行うことができました。

中学部では、総合的な学習の時間の取組の一つとして修学旅行を実施しています。総合的な学習の時間は「ふるさと学習」「職場体験学習」「修学旅行」の三つを三年間で取り組む形態をとっています。平成二十八年度は「修学旅行」、平成二十九年度は「職場体験学習」、平成三十年度は「ふるさと学習」に取り組みました。平成三十年年度の中学部三年生は中学部一年時に修学旅行を経験したという点です。修学旅行の行き先は、関西方面で、二泊三日で実施しています。自分たちの追求したい課題をもとに旅程を決めることや、お楽しみユニバーサルスタジオリヤパル体験等も含め、他の中学校の修学旅行の取組と概ね同じではないかと思えます。中学部は小学部と違い本校のみで実施しています。平成二十八年度は生徒五名、引率二名での実施でした。普段から家族のように親しい人間関係を築いている生徒と教員が一緒に二泊三日の旅行を行うことは、中学校卒業後には離島して、一人の生活を強いられる生徒たちにとって、総合的な学習の時間をもつ意味以上に、心根に深く残るものではないかと思われれます。



隔年実施の小学部修学旅行(平成29年度に実施)

見島の未来へ向けて  
平成三十一年度は、小学部五年生児童一名と中学部三年生生徒三名が修学旅行に参加し、貴重な体験をする予定です。児童生徒数減少の荒波が見島にも押し寄せていますので、修学旅行の実施方法の工夫だけでなく、日々の教育活動の難しさも感じています。しかし、見島の誇る伝統「おにようず」に代表される見島独自の文化を継承し、その良さを子どもたちに伝えていくこと、十五歳で旅立つ子どもたちが必要な生きる力を身に付けることを使命として、見島のため、子どもたちのために、今日も、見島で頑張っている仲間がいます。

行を経験したという点です。修学旅行の行き先は、関西方面で、二泊三日で実施しています。自分たちの追求したい課題をもとに旅程を決めることや、お楽しみユニバーサルスタジオリヤパル体験等も含め、他の中学校の修学旅行の取組と概ね同じではないかと思えます。中学部は小学部と違い本校のみで実施しています。平成二十八年度は生徒五名、引率二名での実施でした。普段から家族のように親しい人間関係を築いている生徒と教員が一緒に二泊三日の旅行を行うことは、中学校卒業後には離島して、一人の生活を強いられる生徒たちにとって、総合的な学習の時間をもつ意味以上に、心根に深く残るものではないかと思われれます。



平成30年度中学部3年生は11年生時に経験(平成28年度に実施)

### 学び、楽しむ修学旅行 萩市立見島小中学校 中学部

三年 守永 愛梨



私たち見島小中学校三年生は、五月に修学旅行で大阪・京都・

奈良を訪れます。京都や奈良は歴史的景観が今でも残っており、大阪は、人口が多く、にぎわっていると思います。

修学旅行でやりたいことは二つあります。一つ目は、歴史について学ぶことです。私が暮らしている萩市にも歴史的景観が残っています。しかし、京都や奈良は、萩市よりもたくさん建造物や歴史的町並みがあります。すべての建造物を訪れることはできませんが、一つ一つ、じっくり見て回り京都や奈良の歴史を全身で感じたいと考えています。

二つ目は思いつきり楽しむことです。来年は、島を出て高校に行かなければなりません。また、ずっと過ごしてきた友達とも離ればなれになってしまうと思います。修学旅行では最高の思い出を作りたいと思います。

修学旅行の一日目は、大阪のユニバーサル・スタジオジャパンに行きます。私は、一度も行ったことがなく、初めて行くので楽しみです。友達と一緒にテーマパークへ行くことはなかなか無いので思う存分楽しみたいと思います。

二日目と三日目は、京都と奈良を訪れグループに分かれて、課題追求をしたり観光したりする時間があります。私は、銀閣（慈照寺）をテーマとした課題を立てています。金閣（鹿苑寺）と銀閣を比べ、もつと銀閣の魅力を見たいと思います。

家族とは離れますが友達と一緒に過ごし、絆をもつと深めて、最高の修学旅行になることを期待しています。



金閣を背景に  
前回（平成28年度）実施の修学旅行より

三年 吉村 真菜子



私は、総合の時間で、行ったことがない大阪、京都、奈良について調べています。人がたくさんいる場所が苦手な私は、楽しみなこと

がある反面、不安な気持ちもあります。学習を進めるなかで、この不安な気持ちを消していくように、楽しみなことが増えてきました。

大阪では、ユニバーサル・スタジオジャパンに行きます。ユニバーサル・スタジオジャパンでは、二人の同級生と一緒に、楽しみたいと思います。

京都では、龍安寺の石庭の謎に迫ってみようと思います。龍安寺について調べた時、作庭者などが分かっていることを知り、自分なりに予想を立ててみると、おもしろそうだと思います。調べて、すぐに分かることよりも、自分で考えてみる方が、絶対におもしろいと思います。

奈良では、東大寺に行きます。東大寺がとても大きいということは知っていますが、実感がわきません。行ってみてその大きさと姿を味わってきたいと思います。

見島では、味わうことのできない、たくさんのおいしいものがあります。その味わえないものを全身で感じ、



みんなでパチリ  
前回（平成28年度）実施の修学旅行より

関西の魅力に触れたいと思います。知らない土地だからこそ、感じられる様々な空気に触れ、楽しみたいと思います。

三年 浜村 拓美



修学旅行で楽しみにしているのは京都です。僕が決めたテーマ

マは歴史的な建造物を見ることです。テーマに基づいてルートを決めました。どの交通手段で何時発に乗ろうか、とインターネットを使って調べていくうちに、わくわく感が大きくなりました。

京都が町全体が歴史であふれています。その中から一日で回るコースを決めるのは簡単なことではありません。決め手はインターネットなどの写真です。あとは実際に訪れて、建物の奥行きや音、その雰囲気を感じたいと思っています。

### 多様性・試行錯誤・新しい価値の 発見過程が未来を創る



学校法人 徳山中央幼稚園  
園長 御手洗 賢成

幼児教育は、「環境を通して行う教育」です。新学習指導要領では、これに呼応する文言はどう書かれているのでしょうか。今回、幼児期から大学までを貫く要領改訂の意図を伺える大切な文言に「主体的・対話的で深い学び」というのがあります。

この背景には、答えが分かっているものをどう解くかという力を伸ばす二十世紀型教育から、答えの見つかっていないことに対して情報を集め、人との意見交換をしながら斬新な答えが出せる知性、そしてそれを上手にプレゼンし、協働できる能力を中心に育む、いわゆる教え込みむ教育からの脱皮を示唆する意味があります。

本園での多々ある昨年の教育実践の一つに、「ガーナ実践」（年長）というのがあります。五月の雨上がり、水溜まりの土を平らにしていた子どもの姿を見たクラスの子どもが「あつ、板チョコみたい！」「えつ、板チョコつてなあに？」と言ったことをきっかけに始まったガーナの板チョコ集め。チョコ入りの焼き作り・Ghana英字への関心・地球儀諸外国の国旗描画・ガーナへの距離・飛行機しかない交通機関・図鑑での機体調べ・家族での



ガーナチョコのパッケージ集め

宇宙空港パイロット、CAの制服体験・飛行機作りパイロット乗務員ごっこ・スカーフまとうCAごっこなど。二月の生活発表会などの行事を挟み続けたあそびです。自分が、発想し試行し続けた活動は、気の合う他者と結びつき新しい発見と多様な協同表現とで彩られ、遊びという学びを牽引しました。こうした幼稚園における実践が、学習指導要領にもある「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」でつながり「遊びと学習」を到達目標ではない方向の目標として深まり共有されることを期待します。

### 地域に愛される子ども園を目指して



下関市立川棚こども園  
前園長 森永 山貴枝

川棚こども園は幼保連携型認定こども園として、平成二十七年四月に開園しました。

現在〇歳児から五歳児まで二百二十名の子どもたちが通園しています。

年中・年長児は小さい子のお世話が大好きです。一緒に手をつないでお散歩に行ったり、サッカーをしたりして遊んでくれます。年少児は年長児にあこがれの気持ちを抱いて、一緒に遊んでほしいと後ろをついて歩きます。年長児は大きくなった自分に自信を持ちながら、年少児にやさしいまなざしを向けています。

私たち保育者は、「一人一人を大切に保育」「意欲と思いやりを育てる保育」「保護者に信頼される園」を目標に、子どもたちが自ら遊びたくなるような環境作りに取り組んでいます。川棚地区には、温泉街の真ん中に「川棚の杜コルトーホール」という地域に文化を発信する施設があります。これまで幾度もイベントに招待され、時には子どもたちが協力して活動を盛り上げています。

昨年は、フランス人画家の個展が開かれ、その画家と年長児が共同で絵画制作を行い交流し、その後保護者



フランス人画家との交流

と一緒に展示された絵を鑑賞しました。本物に触れる良い機会をいただきました。また、その他にも地域の老人会のおいちゃんおばあちゃんと一緒に昔遊びを楽しむ会、小串署から依頼を受け、道路わきに園児手作りの横断幕を張り、「交通安全お願ひしましす」と呼び掛ける活動などを通じて、地域の皆さんとのつながりを感じることができました。これからも、地域に愛され、子どもたちの笑顔があふれるこども園づくりに続けていきたいと思えます。

## 岩国石人形資料館



錦帯橋と石人形の大名行列

左の写真は、錦帯橋を渡る大名行列を表現した作品の一部分です。行列の人形一体一体の素材が何かわかりますか？実は、

ニンギョウトビケラという昆虫が川底の小石や砂を集め、口から出す糸でそれらを固めて造った筒巢で造られています。人形一体の大きさは、わずか15mm程度ですから、大名行列の作品全体のコンパクト感も想像されます。

ニンギョウトビケラの筒巢は川の中の石に付く性質があるので、錦帯橋の石垣や敷石などで採ることができます。その形が人の形に似ていることから、石人形と呼び、事故・災害・厄除け等のお守りとして利用され、また、七福神やお地藏様、仏像等にも見立てられています。民衆がこれを採集して遊ぶ習慣となったことから、日本の三大珍玩具とも言われているそうです。

石人形は、江戸時代のころから、岩国独特の人情や心の現れとして人々から愛され親しまれてき



石人形の採集

ました。このような貴重な石人形の文化を、後世に伝えていくことを目的として、平成15年、錦帯橋の吉香公園エリア側渡り口すぐそばに「岩国石人形資料館」が開設されました。

資料館に入ると、閲覧しやすいように並べられたガラスの展示棚とその壁面に、所狭しと石人形に関する資料や作品が展示され、ニンギョウトビケラの生態や、江戸時代末期から明治にかけて多数の詩歌に読まれたり、漢詩に謳われたりしたという石人形の文化の一端を知ることができます。また、石人形のお守りや七福神の置物など数々の販売品も取りそろえられています。

全くの私設資料館であるため、運営面では苦勞するとのことでしたが、自然の造形物と人々の素朴な心が結びつき、何とも言えない心の優しさと癒やしを覚えることができ、また訪れてみたくなる施設となりました。



資料館入り口



石人形展示の一部

〒741-0081 岩国市横山2丁目2-18 Tel.0827-43-2665  
開館時間：9:00~18:00 入館無料 基本的に年中無休  
URL: <http://stonedoll.main.jp/>

## 和木美術館アートウィング



山口県の東の玄関口、和木町を走る県道135号、その道路沿いの和木町役場や和木町文化会館、和木町立和木中学校などの公共施設に囲まれた一角に「和木美術館アートウィング」があります。

和木町民の芸術文化に対する意識を深め、地域の活性化及び地域づくりを進めるための美術及び芸術に関する作品等の展示空間として、平成15年12月に開館されました。

平屋造りの建物の表には、元東京芸術大学学長の澄川喜一氏作の「TO THE SKY」というモニュメントをいただいた公園が設置されており、その清閑なたたずまいに気持ちが和みます。

アートウィングは、美術作品を所蔵したり、それらを常設展示したりするのではなく、和木町教育委員会が所管する自主事業と和木町文化協会や地域振興協会などイベントの主催団体への貸館事業により運営が行われ、施設としての目的水準が保たれてい

ます。

筆者が訪れたときには、第6回を迎える「和木町絵画美術展覧会」が、開催されていました。和木町内外から157点の応募作が集まり、アートウィングの展示スペース全体を使って展示されていました。毎年好評とのこと



展覧会のようす

です。毎年夏には子ども向けの展示も行われており、子どもの居場所づくりとしても評価が高いイベントとなっています。平成30年度は、「バーチャル飛行体験」というVR技術の体験学習に約2,500名の参加者がありました。

また、今年2月24日には、地域の小物販売を主とした「アートウィングマルシェ」というイベントも



マルシェで楽しむ子どもたち

開催され、約400名の方々が楽しめました。

豊かさを育むための、手作りの施設として、町民の皆様に親しまれている様子が伝わる美術館でした。

〒740-0061 玖珂郡和木町和木1-3-1  
Tel. 0827-54-1009 (閉館中は下記へ)  
Tel. 0827-53-3123 (和木町教育委員会)  
貸館に関するお問い合わせは和木町教育委員会まで。  
URL: <https://www.town.waki.lg.jp/kanko/shisetsu/>

## 第10回 青年教師の集い

- 1 趣 旨 教育維新の強い思いをもつ小・中学校の青年教師が集い、授業実践及び授業構想を検討し合うことをとおして、「明日を拓く豊かな授業」を構築する。
- 2 主 催 (一財) 山口県教育会
- 3 期 日 令和元年8月8日(木)・9日(金) 1泊2日
- 4 会 場 パルトピアやまぐち・山口大学教育学部附属山口中学校
- 5 研究教科 小・中学校理科  
テーマ：観察・実験を中心とした探究活動から、理科の面白さと有用性を見いだす
- 6 参加者 小学校教諭6人程度 中学校教諭6人程度 計12人程度
- 7 参加経費 交通費、宿泊費等の必要経費はすべて主催者が負担します。
- 8 研修日程

時刻	研修内容	会場	時刻	研修内容	会場
9:30	開会行事	パルトピア やまぐち 中ホール	9:00	【小学校と中学校の2部会に分かれる】 模擬授業の指導案作成	山口大学教育学部附属 山口中学校 理科室
10:00	【小・中混合の2グループに分かれる】 実践例の発表		10:30	模擬授業	
12:00	昼食・休憩		12:00	昼食・休憩	
13:00	実践例の発表(午前の続き)		13:00	模擬授業(午前の続き)	
15:00	発表についての研究協議		14:45	研究協議・指導助言	
16:15	指導助言		15:30	全体会・閉会行事	
18:30	夕食・意見交換会				

- 9 参加申込 A4版用紙に、①氏名 ②性別 ③教職経験年数 ④所属学校名 ⑤応募の目的 を記入して、(一財) 山口県教育会へFAX送信 (FAX 083-922-5768) してください。  
\* 応募用紙の様式は、(一財) 山口県教育会のホームページに掲載しています。  
\* 申込多数の場合は、主催者が「⑤応募の目的」を考慮の上決定します。
- 10 申込締切 令和元年6月7日(金)
- 11 問 合 先 (一財) 山口県教育会 山口市大手町2-18 (TEL) 083-922-0383 (FAX) 083-922-5768

## 第71回 日本連合教育会研究大会滋賀大会

- 1 大会主題 ふるさとを愛し 心豊かで 主体的に生き抜く 子供の育成  
～BIWAKOから未来への発信～
- 2 主 催 日本連合教育会 (一社) 滋賀県教育会
- 3 期 日 令和元年7月25日(木)～26日(金)
- 4 会 場 びわ湖大津プリンスホテル [大津市におの浜4丁目7-7 (TEL) 077-521-1111]
- 5 大会日程
 

	9:00	9:40	10:10	10:30	12:00	13:30	16:30
7月26日(金)	開会式	全体会	休憩	記念講演	昼食・映写	分科会	

記念講演 演題「一人一人のライフ(生命、生活、人生、活力)に寄り添う学校を創る」  
—「特別の教科 道徳」を要として—  
講師 押谷 由夫 氏(武庫川女子大学大学院 教授)

映 写 びわ湖フローティングスクール二代目「うみのこ」の活動状況

分科会 ①教育課程 ②学習指導 ③道徳教育 ④幼児教育 ⑤特別支援教育 ⑥生徒指導  
⑦環境教育 ⑧人権教育 ⑨健康・安全教育 ⑩学校・家庭・地域の連携
- 6 参加日程 (列車・貸切バス移動)  
7月25日(木) 新山口駅 → 徳山駅 → 京都駅 → 滋賀県内視察研修 → 大津市宿泊施設  
7月26日(金) 宿泊施設 → [大会参加] → 京都駅 → 徳山駅 → 新山口駅
- 7 参加経費 自宅から新山口駅・徳山駅までの往復交通費と飲食費を除いて、その他の交通費、参加費、宿泊費等の必要経費は(一財) 山口県教育会が負担します。  
\* 上記以外の出発駅については、個別に担当者でご相談ください。
- 8 参加募集 40人
- 9 参加申込 (一財) 山口県教育会へ、電話で参加申込をしてください。  
\* 申込者多数の場合は、初めて参加される方を優先して参加者を決定します。
- 10 申込締切 令和元年5月20日(月)
- 11 問 合 先 (一財) 山口県教育会 山口市大手町2-18 (TEL) 083-922-0383